

酵母由来のイソクエン酸脱水素酵素 (NADP+)、組換え品

Cat. No. NATE-0351

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 イソクエン酸デヒドロゲナーゼ (IDH) (EC 1.1.1.42) は、イソクエン酸の酸化的脱炭酸反応を触媒する酵素であり、 α -ケトグルタル酸 (α -ketoglutarate) と CO₂ を生成します。これは二段階のプロセスで、イソクエン酸 (第二級アルコール) の酸化からオキサロ酢酸 (ケトン) を生成し、その後、ケトンに β して β のカルボキシル基の脱炭酸を行い、 α -ケトグルタル酸を形成します。ヒトでは、IDHは三つのアイソフォームが存在します: IDH3は、ミトコンドリア内でNAD⁺をNADHに β 換しながら、クエン酸回路の第三段階を触媒します。アイソフォームIDH1およびIDH2は、クエン酸回路の文脈外で同じ反応を触媒し、NAD⁺の代わりにNADP⁺を補因子として使用します。これらは細胞質およびミトコンドリア、ペルオキシソームに局在します。

別名 イソクエン酸脱水素酵素 (NADP+); EC 1.1.1.42; IDH; イソクエン酸脱水素酵素; 二重補因子特異的イソクエン酸脱水素酵素; IDP; イソクエン酸 (NADP) 脱水素酵素; イソクエン酸 (ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリジン酸) 脱水素酵素; イソクエン酸脱水素酵素 (NADP); イソクエン酸脱水素酵素 (NADP依存性); NADPイソクエン酸脱水素酵素; NADP (+)-ICDH; NADP (+)-IDH; NADP (+)-連結イソクエン酸脱水素酵素; NADP依存性イソクエン酸脱水素酵素; NADP連結イソクエン酸脱水素酵素; NADP特異的イソクエン酸脱水素酵素; オキサロスシン酸脱炭酸酵素; オキサロスシン酸脱炭酸酵素; トリホスホピリジンヌクレオチド連結イソクエン酸脱水素酵素-オキサロスシン酸カルボキシルラーゼ

製品情報

種	酵母
由来	ピキア・パストリス
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.42
CAS登録番号	9028-48-2
活性	r-ICDH 活性 = 100%
混入物	NAD ⁺ :
特異性	通常 >35 U/mg タンパク質

保管・発送情報

保存方法 -20°C